

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が145例(男性85例(10歳代7例, 20歳代21例, 30歳代9例, 40歳代17例, 50歳代13例, 60歳代8例, 70歳代6例, 80歳代2例, 年齢非公開2例), 女性59例(10歳代3例, 20歳代22例, 30歳代5例, 40歳代8例, 50歳代10例, 60歳代4例, 70歳代6例, 80歳代1例), 未就学児1例(年齢性別非公開))あり, 累積報告数は2,003例となりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が2例(20歳代男性及び20歳代女性)あり, 症状はともに水様性下痢等です。本年の累積報告数は21例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が1例(70歳代男性)ありました。症状は発熱, 肺炎, 頭痛です。感染地域は国内, 感染経路は水系です。本年の累積報告数は14例となりました。
- ・ **アメーバ赤痢**(腸管アメーバ症)の報告が1例(70歳代男性)あり, 症状は粘血便で, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は7例となりました。
- ・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例(80歳代男性)あり, 症状はショック, 急性呼吸窮迫症候群等です。感染地域は国内で, 感染経路は創傷です。本年の累積報告数は11例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状は初期硬結及び梅毒性バラ疹で, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は54例となりました。
- ・ **インフルエンザ**は, 市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- ・ **咽頭結膜熱(プール熱)**の定点当たり報告数は, 京都市では0.21(9例)で 第45週の0.07(3例)から, 全国では0.27で第41週から増加傾向が続いています。現在のところ, 京都市及び全国のいずれも, 流行といえる状況ではありません。プール熱とも呼ばれるように, 例年5月頃から夏にかけて流行しますが, 5年平均値をみると11月～12月にも発生のピークがあることから, 予防を心掛けましょう。感染経路は接触感染と飛沫感染です。うがいや手洗い, タオルの共有を避けるなど, 一般的な予防策が効果的です。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症の感染者数は, 第49週の1週間で145例あり, これまでで最も多い第34週の160例に次ぐ報告数となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ **二類:結核 5例**(肺結核 1例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 239例(肺結核 108例, その他結核 53例, 潜在性結核感染者 78例)うち喀痰塗抹陽性 50例】
- ・ **指定感染症:新型コロナウイルス感染症 145例**【1月以降の累積報告数 2,003例】
- ・ **三類:腸管出血性大腸菌感染症 2例**【1月以降の累積報告数 21例】
- ・ **四類:レジオネラ症 1例**【1月以降の累積報告数 14例】
- ・ **五類:アメーバ赤痢 1例**【1月以降の累積報告数 7例】
- ・ **五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例**【1月以降の累積報告数 11例】
- ・ **五類:梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 54例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科	① 感染性胃腸炎	1. 19	51
(降順5位まで)	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 67	29
	③ 突発性発しん	0. 40	17
	④ 咽頭結膜熱	0. 21	9
	⑤ 水痘	0. 19	8
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

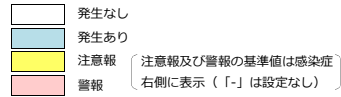
(注) 京都市のデータは, 2020年12月9日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

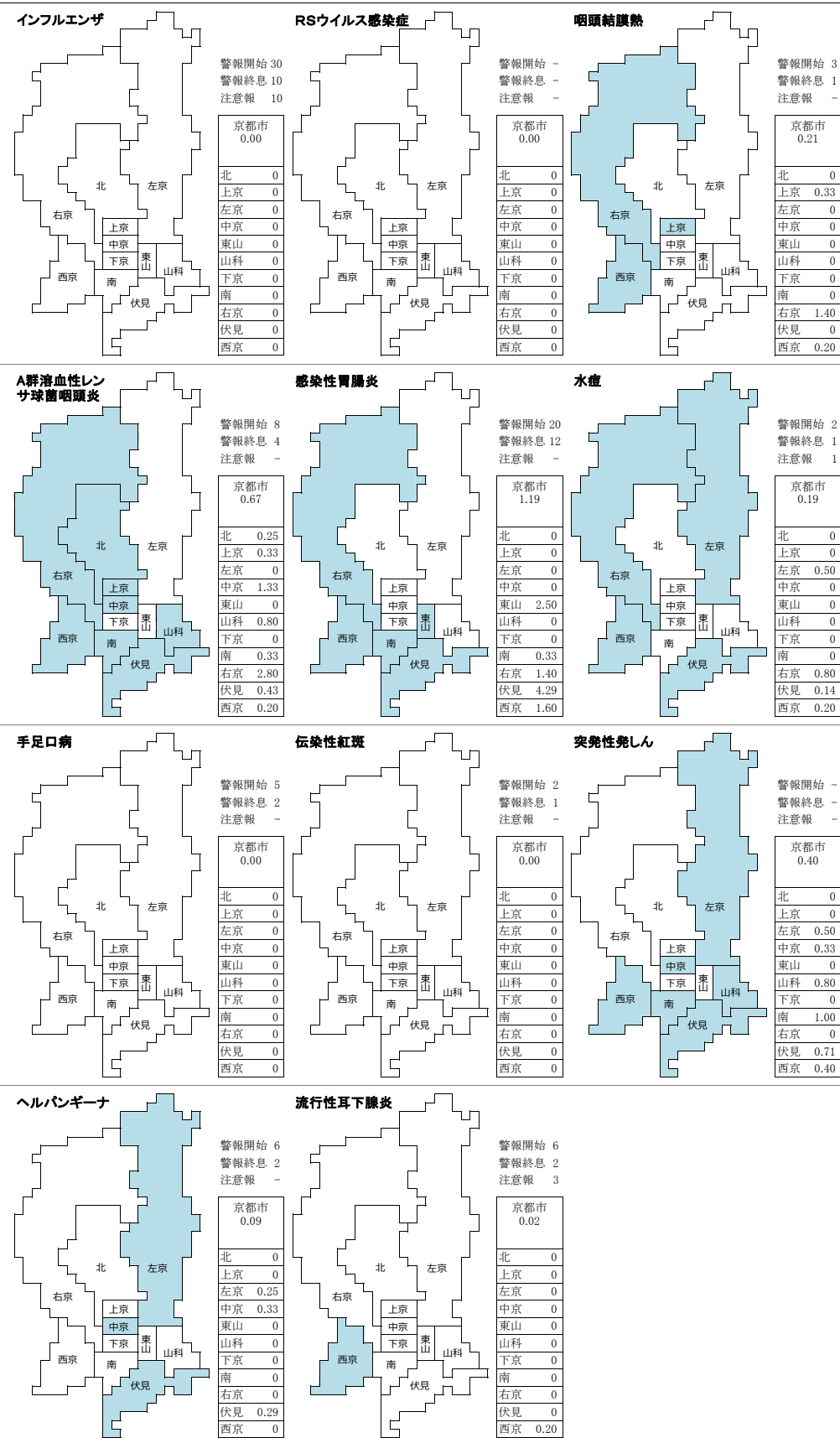
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

■ 京都市_本年
 — 京都市_過去5年平均値
● 全国_本年
 --- 全国_過去5年平均値

インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第49週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第49週(11月30日～12月6日)トピックス:＜新型コロナウイルス感染症＞

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数(感染者数)は、第49週の1週間で145例(男性 85例、女性 59例、未就学児の非公表 1例)あり、累積報告数は2,003例となりました。京都市の1週間当たりの報告数は5月21日の緊急事態宣言解除後、再び増加し第34週(8/17～8/23、160例)にピークを迎えた後、減少し第37週～第44週までは31例～59例と横ばいの状態で推移していましたが、第45週から3度目の増加となり、今週はこれまで最も多い第34週に次ぐ報告数となりました(図1)。

患者発生状況について、直近2箇月間の、人口10万人当たりの感染者数で京都市、全国及び感染者数が多い東京都、大阪府とを比較すると、本市は全国同様の値となっています。一方、東京都及び大阪府は共に11月初旬から増加し、全国との幅が大きくなっています(図2)。

京都市の年齢階級別の患者の割合を報告数のピークごとに、「第1週～第20週」、「第21週～40週」、「第41週～49週」に分けて比較すると、第20週までは50歳以上の年齢層の高い患者の割合が50%以上を占めていました。次の第21週～40週までは圧倒的に若い世代の患者が多く、10歳未満から20歳代の報告が全体の50%以上を占めていました。若い年齢層の感染者は、症状が軽度または無症状の方が多いため、自覚がない間に家族や周りの人にうつして集団感染がおこる、いわゆるクラスター事例にもつながっていました。第41週以降では、20歳代の割合がやや多いものの、高齢者から若者まで幅広い年齢層に広がっており、今後のさらなる感染拡大や動向に注意が必要です。

現在、新型コロナウイルス感染症は、飲食の機会だけでなく職場や学校、また、家庭内や施設内などで感染が広がっています。本市では11月17日～12月31日まで「京都市新型コロナ感染防止徹底月間(第2弾)」としています。感染拡大地域への不要不急の外出を控え、三密(密閉空間・密集場所・密接)をできるだけ避けながら行動し、うがいと手洗い、マスクの装着、こまめな換気や加湿など基本的な感染予防対策を行ったうえで、体調が悪いときは無理をせず休みましょう(詳細は下記ホームページ)。

また、発熱やせき等の症状で受診したいときは、医療機関へ直接行かずに、まず電話でかかりつけ医等に相談するか、または下記の京都市ホームページを参考に相談してください。

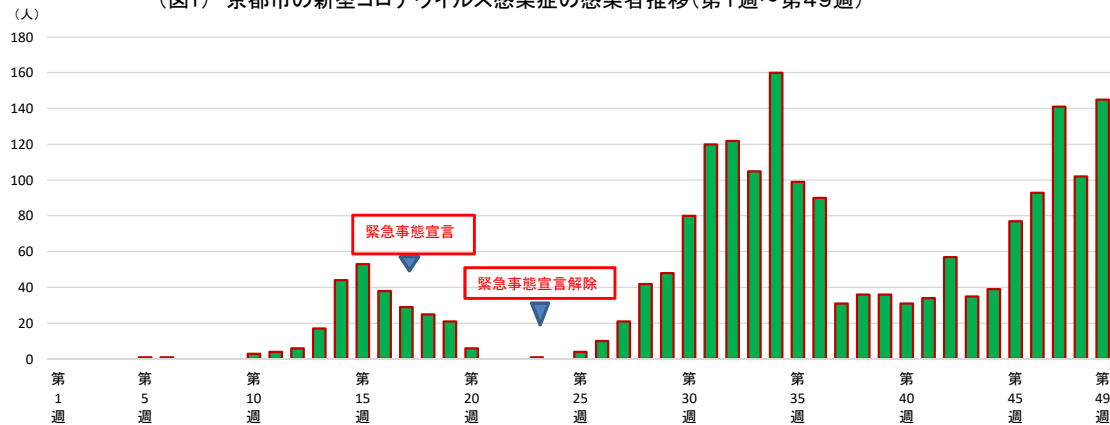
○新型コロナ感染防止徹底月間(第2弾)【11/17～12/31】～再拡大防止に向けた実践～

<https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000277663.html>

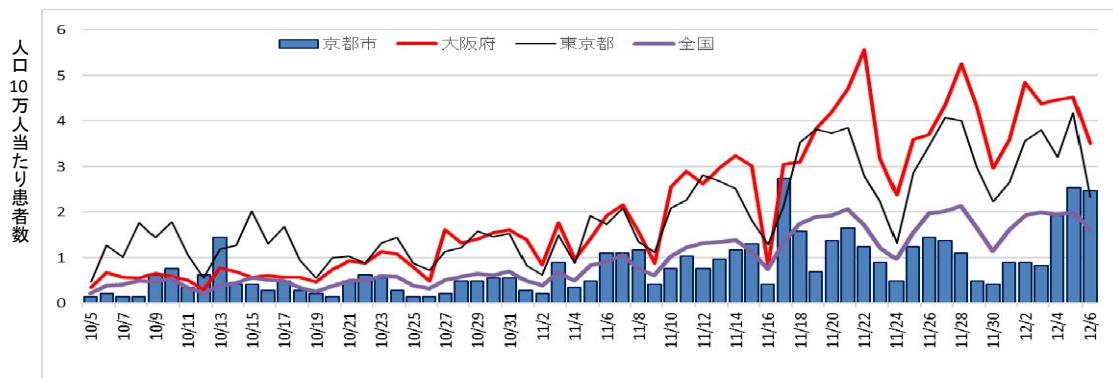
○京都市情報館「新たな診療・検査体制について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277047.html>

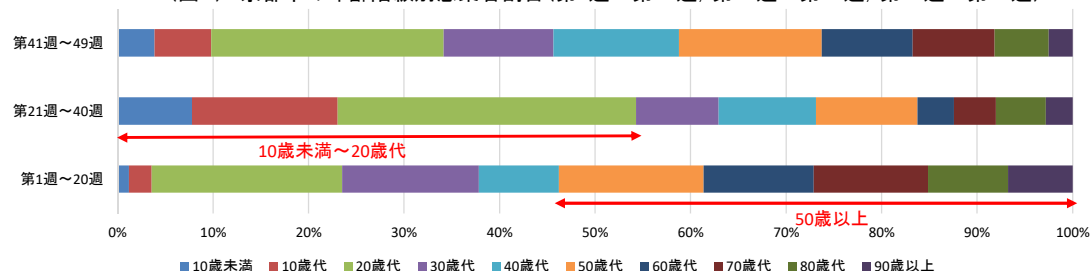
(図1) 京都市の新型コロナウイルス感染症の感染者推移(第1週～第49週)



(図2) 直近2カ月の人口10万人当たりの感染者数の推移(京都市, 全国, 東京都, 大阪府)



(図3) 京都市の年齢階級別感染者割合(第1週～第20週, 第21週～第40週, 第41週～第49週)



○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第49週

疾病,行政区別報告数

2020年11月30日～2020年12月6日

データ入手日:2020年12月9日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	-	2	-	-	2	1	-	-	-					
中京	-	-	-	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-							
右京	-	-	7	14	7	4	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	3	30	1	-	-	5	2	-	-	-					
西京	-	-	1	1	8	1	-	-	2	-	1	-	-					
京都市計	-	-	9	29	51	8	-	-	17	4	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	-	0.50	-	-	0.50	0.25	-	-	-					
中京	-	-	-	1.33	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	0.80	-	-	-	-	0.80	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	1.00	-	-							
右京	-	-	1.40	2.80	1.40	0.80	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	0.43	4.29	0.14	-	-	0.71	0.29	-	-	-					
西京	-	-	0.20	0.20	1.60	0.20	-	-	0.40	-	0.20	-	-					
京都市計	-	-	0.21	0.67	1.19	0.19	-	-	0.40	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2020年第49週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年11月30日～2020年12月6日

データ入手日:2020年12月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		9	－	1	5	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	－	2	5	4	3	1	5	－	2	2	－	2	－	3						
感染性胃腸炎		51	－	2	4	1	4	4	2	3	4	－	2	11	6	8						
水 痘		8	－	－	－	－	1	－	3	1	－	1	－	2	－	－						
手 足 口 病		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		17	－	4	11	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		4	－	1	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.21	－	0.02	0.12	0.05	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	－	0.05	0.12	0.09	0.07	0.02	0.12	－	0.05	0.05	－	0.05	－	0.07						
感染性胃腸炎		1.19	－	0.05	0.09	0.02	0.09	0.09	0.05	0.07	0.09	－	0.05	0.26	0.14	0.19						
水 痘		0.19	－	－	－	－	0.02	－	0.07	0.02	－	0.02	－	0.05	－	－						
手 足 口 病		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.40	－	0.09	0.26	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.09	－	0.02	0.02	0.02	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第49週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年12月9日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	1	－	－
RSウイルス感染症		－	－	－	－	－	－
咽 頭 結 膜 熱		9	3	6	7	7	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	15	10	32	30	29
感染性胃腸炎		58	56	62	56	50	51
水 痘		12	9	13	15	7	8
手 足 口 病		－	3	7	3	6	－
伝 染 性 紅 斑		－	1	1	－	－	－
突発性発しん		14	9	12	15	14	17
ヘルパンギーナ		5	－	4	4	4	4
流行性耳下腺炎		1	－	－	1	－	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	1	1	1	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		134	96	116	135	119	119

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	0.01	－	－
RSウイルス感染症		－	－	－	－	－	－
咽 頭 結 膜 熱		0.21	0.07	0.14	0.16	0.16	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	0.35	0.23	0.74	0.70	0.67
感染性胃腸炎		1.35	1.30	1.44	1.30	1.16	1.19
水 痘		0.28	0.21	0.30	0.35	0.16	0.19
手 足 口 病		－	0.07	0.16	0.07	0.14	－
伝 染 性 紅 斑		－	0.02	0.02	－	－	－
突発性発しん		0.33	0.21	0.28	0.35	0.33	0.40
ヘルパンギーナ		0.12	－	0.09	0.09	0.09	0.09
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	0.02	－	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	0.10	0.10	0.10	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		3.12	2.23	2.77	3.21	2.84	2.77

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。